

(法第28条第1項関係「全事業年度の事業報告書」)

2023年度の事業報告書
2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人大分市日中友好協会

1 事業の成果

中国武漢市との友好都市間交流を民間レベルで推進し、相互理解を深めていく取組を実施。とりわけ、次代を担う大学生等のオンライン対話交流に注力した。大分県府のすべての大学、短大、高専、一部専門校11校を網羅した実行委員会を立ち上げ、多くの学生が武漢で学ぶ日本語専攻の学生と直接、日本語で意見交換できる環境を整えた。同じく実行委員会に参加する自治体のプロモーションビデオも放映し、地域の情報発信を行なった。この他には、全日本中国語スピーチコンテストの県予選を兼ねた大分県中国語スピーチコンテストの支援等、例年の事業を行なった。

課題として、本来はオンライン交流会などについては実行委員会の受託主体となり得るものの、助成事業を含む法人資金の流動性等について柔軟性を欠き、限りがあることから、当面は構成員のスキルと経験による事業実施となっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施 日時 (B) 当該事業の実施 場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
①大分武漢 学生オンライン交流会 の開催	・友好都市間交流の一環として武漢市で日本語を専攻する大学生と大分の学生、計20名が、環境、日中友好の未来、身近な話題をテーマ（テーマは学生提案）に3時間にわたり日本語で対話するオンライン交流会を開催	(A) 11月25日 土曜15:00 ～18:30 (B) J:COMホルト ホール大分サテライト キャンパス講義室 武漢は武漢市人民対 外友好協会会議室を メイン会場。会場オ ーディエンスの他に 各大学に配信 (C) 5人	(D) 大分武漢 の友好都市の学 生及び教育・自 治体関係者 (E) ネットを 含むオーディエ ンスは約200人	— (実行委員会事 業費：106千円 うち助成金51千 円)

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会（大分県府の全ての大学等のほか、県、大分県府市で構成。事務局は県協会）方式で開催。具体的なOPは市協会が担う ・大分市助成金事業活用（大分県府の広域のため実行委員会が助成申請、県協会会計） 			
② 第8回 大分県中国語スピーチコンテスト支援	全日本中国語スピーチコンテストの県予選を兼ねた県大会開催支援（県協会主催）	(A) 10月29日 日曜13:30~15:00 (B) J:COMホルトホール大分大会議室 (C) 6人	(D) 県内の高校・大学・社会人で中国語学習者 (E) 出場者14人、50人	
(3)中国人留学生との交流	中国留学生学友会と連携し、新春祝賀会等の場を通じて交流を深める。	(A) 1月20日土曜11:00~14:00 (B) コンパルホール多目的ホール (C) 8人	(D) 大分在住中国人留学生、華人 (E) 120人うち留学生、華人35名	— (県協会主催イベントを活用)

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

2023年度特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人 大分市日中友好協会

科目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
入会金	0		
市協会費	43,000		
県協会費	129,000		
会報代	137,200		
賛助会費		309,200	
2 受取寄付金			
受取寄付金	0		
施設等受入評価益	0	0	
3 受取助成金等	0	0	
4 受取負担金	18,000	18,000	327,200
5 事業収益			
①大分中国友好促進事業	0		
②大分武漢都市間交流事業	0		
③在日中国人との連携強化	0		
④中国語の普及など中国関連諸活動	0		
⑤大分市日中記念誌編集事業	0		
⑥青少年交流(卓球)	0	0	
⑦事業推進費	0		
6 その他収益			
未取会費	0		
未収入金	0		
利息等	3	3	
	経営収益計		327,203
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	0	0	
(2) その他経費			
事務局費	0		
印刷製本費	0		
旅費交通費			
通信運搬費	0		
会場費			
消耗品費			
交流会費	0		
支払寄付金	0		
支払い手数料	0		
卓球交流団滞在費			
その他経費計	0		
事業費計		0	
2 管理費			
(1) 人件費	0		
(2) その他経費			
県協会費	157,500		
会報代	223,500		
總會費			
理事会費			
事務局費	114,600		
光熱水費			
旅費交通費	0		
通信運搬費	10,958		
消耗品費	9,325		
施設等評価費用			
支払手数料	8,892		
雑費	0		
その他経費計	524,775		
管理費計		524,775	
	経常費用計		521,775
当期正味財産増減額			-197,572
前期繰越正味財産額			674,901
次期繰越正味財産額			477,329

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」)

2023年度特定非営利活動に係わる事業会計貸借対照表

2024年5月31日現在

特定非営利活動法人 大分市日中友好協会

科目・摘要	金額（単位：円）	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手持有高		
普通預金 大分銀行鶴崎支店	291,245	
普通預金 大分銀行ソーリン支	186,084	
未収会費		
未収入金		
流動資産合計		477,329
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		477,329
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払い金	0	
前納金（前受け会費）	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	674,901	
当期正味財産増加額	-197,572	
正味財産合計		477,329
負債及び正味財産合計		477,329

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を「活動計算書」と呼んでいます。

(1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入は、活動計算書に計上しています。又、計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(2) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. ボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(3) 消費税の会計処理

消費税は税込経理によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別紙の通りです。

3 施設の提供等の物的サービスの受入内訳

(単位：円)

内容	役務提供益	算定方法

1. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

2. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味資産は477,329円ですが、そのうち186,084円は青少年交流基金事業に使用される財産です。したがって、用途が制約されていない正味財産は291,245円です。

(単位：円)

内容	前期繰越額	当期受入額	前期減少額	次期繰越額	備考
青少年交流基金	186,084	0	0	186,084	

2023年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2024年5月31日現在

特定非営利活動法人 大分市日中友好協会

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手持有高		
普通預金 大分銀行鶴崎支店	291,245	
普通預金 大分銀行ソーリン支店	186,084	
未収会費		
未収入金		
流動資産合計		477,329
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		477,329
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払い金	0	
前納金 (前受け会費)	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産合計		477,329

2024年 6月 19日

これは特定非営利活動法人大分市日中友好協会の財産目録に相違ありません。

監事 住所・氏名印

大分市城山町1-5-27-602

河野健造 